

愛のうちに建てられる

2023年9月3日

エペソ人への手紙 4章7～16節

序：すべて・同じ（1～6節） ⇒ ひとりひとり・多様（7～12節）
からだはひとつ 器官は多い

I. 与えられた賜物

救いは同じ 賜物は千差万別

キリスト・イエスから授かった恵み

凱旋した王が家来たちに戦利品を分け与える

キリストはサタンと罪と死という敵を制服し捕虜とした（勝利）

天から下り、贖いを成し遂げて（十字架と復活）昇天

降誕

地上の世界も天界よりもはるか高いところに上られた

賜物を携え、与えるため

キリストによってこの世界が満たされ（続ける）ため

II. 教職者たちは教会への賜物

①使徒 = キリストによって選ばれ任命された 十二使徒とパウロ
復活のキリストの目撃者
神のみことばを解き明かす（by 聖霊）
奇跡を行う権威
世界的範囲・領域で活動

②預言者 = 神のことばを宣教・証言（来たるべき未来も）
ユダ、シラス、アガボ

③伝道者 = 巡回宣教師、使徒の指導のもと補佐、各地で活動
ピリポ、テモテ

④牧師・教師（一人の人の別称）= 教会・信者たちへの養育・指導
信仰と生活

III. 教職者が教会に与えられた理由

12節の別訳 「それは彼らが聖徒たちを整えるべく、奉仕の働きとキリストの
からだを建て上げるためであった」

IV. 教会がめざす目標

(1) 神の御子に関する信仰と知識の一致

信仰告白 聖書による知識

肉の思いや人的努力によっては実現できない

(2)子どもから成人へと成長

教会の始まり～成長の過程で教職者の存在は必要

子ども：純真で信じやすい（悪用されると悲惨）（幼稚、未熟）
人の悪巧み（いかさま）、悪賢い策略（罠にかける、陥れる）
偽りの教えや世間の流行に翻弄される（方向がわからない）
対決の手立ても技術も力もない
自己流・自分中心（愛がない）

おとな：愛をもって真理を語る
利他 客観的

(3)かしらなるキリストに向かう成長

キリストに似る ＋ キリストとますます結びつき一体となる

V. キリストがお建てになる教会の成長

(1)からだの細部・部分まで、秩序をもって混乱なくつなぎ合わされ、組立てられる

(2)それぞれの部分が分に応じて働く（全体を把握しながら）

(3)愛のうちに建てられる

＝

神の愛（御子をたまわるほどの愛）（ご自分のいのちを敵を救うためささげた愛）

VI. 結び

(1)神の人間救済の究極的目的：キリストの花嫁なる教会を建てること

(2)教会の統一性と多様性

(3)かしらはキリスト、聖徒はそのからだのなくてはならない部分

(4)キリストによって、キリストを目指して、愛のうちに建てられる

(5)教会が愛の支配の中にあるなら、必ず成長する

私は他の人々とともにあること

” のためにあること を忘れない

今から臨む聖餐式において、神が教会に与えてくださっている恵みを数え感謝したい。さらに福音の前進のために、献身の思いを新たにされたい。